

No. 7

1984年

同窓会より

— 発行 —

旭川荘厚生専門学院同窓会

岡山市祇園地先

TEL (0862) 75-0145

— 編集責任者 —

同窓会会長 守屋 礼子



第12回 卒業式 江草学院長 告辞 (59. 3. 15)

わたしたちの親しみと誇りの対象である母校において、お互い仕事のこと、家庭のこと、将来の夢など、恩師を迎えて語り合い、楽しいひとときを過ごしていたわけばと思っております。

どうぞ、お誘い合わせの上、是非ご参加くださるよう、ご案内申し上げます。

そのためには、毎年学院祭に合わせて開かれる同窓会の総会には一人でも多くの方が参加して下さるようお願いいたします。

卒業生も一三九人となつたいま、同窓会の充実、発展を切に願っております。

今年も皆さまのご協力により無事お手元にお届けすることができ、大変うれしく思っております。

卒業生も一三九人となつたいま、同窓会の充実、発展を切に願っております。

スポーツ、文化、芸術の秋たけなわ。さわやかな好季節となりました。同窓会の皆さま、お元気ですか。「同窓会だより」も発行を重ね、七回を数えます。

年々、内容のあるものと、がんばっていますが、満点のときには、いま一步およばないようで申し訳なく存じます。

同窓会長

守屋 礼子

同窓会へのお誘い

第3号館 整備成る。

昭和五十六年の創立十周年記念事業として、本館(第一号館)南へ鉄骨二階建(一階はビロティー、二階は新リズム室)を建設しました。今般、昭和五十八年度に、この一階ビロティーを整備して、普通教室二室と絵画工作室とを作りました。この棟を第3号館としました。



整備成った第3号館

同窓会総会案内

日時 十一月四日(日)

十一時~十二時

場所 母校

第13回 学院祭案内

十一月三日~四日

統一テーマ

「それぞれの、

明日へ……」



(同窓生の集い)

同窓会役員

本部役員

会長	守屋 礼子
副会長	藤 繁子・石原 啓子
会計	羽井佐米子・森定 信子
監事	人見 寿太・道綱 清美
書記	高橋 里子・安達 文子

母校の近況

顧問 長安 一郎

卒業生の皆さん、お元気ですか。学院は開校十三周年を迎えました。本年の卒業生一七八名を加えて、同窓会員総数は実に一三九名となりました。

在学生は、本年新入生二〇八名を迎えて、学生総数五二二名です。

次に、職員の変動について申し上げます。副学院長の久松英保先生が、津山の作陽短大教授として転出されました。そして、教務課長兼学生課長に山形寛一先生をお迎えしました。看護科では、木内治枝先生が退職され、広島へ転居され、前に居られた河田幸子先生が二年振りに再び帰って来られました。

次に施設についてお知らせします。正門を入った右側の第二号館に引き続いて、本館の南のリズム室棟の一階部分のピロティを普通教室と給

西工作室に整備して、この棟を第三号館としました。更に、本年八月から、正門を入



入学式 川崎祐宣理事長 祝辞

各年度の
学生数

年度	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
保 育 科	29	54	50	44	40	36	39	37	36	37	109	118	113	103
看護科								43	100	150	193	229	271	290
第1 (3年課程)														
第2 (2年課程)	51	111	136	156	177	167	179	165	124	123	116	128	119	123
計	80	165	186	200	217	223	248	285	300	358	418	469	503	522

卒業生数

年度	第1回 (48.3)	第2回 (49.3)	第3回 (50.3)	第4回 (51.3)	第5回 (52.3)	第6回 (53.3)	第7回 (54.3)	第8回 (55.3)	第9回 (56.3)	第10回 (57.3)	第11回 (58.3)	第12回 (59.3)	計
保 育 科	29	24	25	30	23	32	36	40	34	52	54	52	416
看護科									36	56	50	73	215
第1 (3年課程)													
第2 (2年課程)	43	55	66	79	88	68	102	54	57	47	53	53	768
計	71	79	93	95	111	103	138	94	127	155	157	178	1,399

窓口に

教務課



第4号館建設打ち。

学歴社会から実力社会へと、かつて先進国が歩んだ道を我が国も歩んでいます。昨今は専門学校への認識、評価も高まり入学希望者も急増しています。学院としては広い教養をも

た正面で、本館玄関の右前のところに、鉄筋コンクリート三階建の第四号館の建設を始めました。来年三月に竣工する予定です。皆さんの母校は、入学志願者が増加して入学競争率も上昇し、学生数も段々増加し、建物も増築して充実しつつあります。どうか、よいチャンスを作って、一度母校を訪ねて下さい。来る十一月三、四日は第十三回学院祭で、十一月四日(日)は同窓会定期総会が開かれます。なつかしい教友を、さそい合せて一人でも多く母校へお出掛け下さい。お待ちしております。

おたより



看護科 大下 光子 (旧姓秋山) (神戸市) 第一期生

雨がふりつく今日このごろ、いかにお過ごしですか。

先生方も、ますますがんばっていると思います。久しぶりに母校より葉書をいただき、うれしく思います。私も子供二人授かり、毎日育児に専念しています。時折ヒステリーを起しながら……。

みなさまは、いかがしていますか。私は神戸婦人大学なるものを三年間学び、人と人との出会いをたいせつにしています。児童科なるものを勉強し、心理学

学生課

おはよう!!と笑顔で交わす朝の一言。お国なまりの談笑。そこには今日の出会いがあり、始まりがある。今日も頑張ろう!!九時十分始業、太いそぎ教室へ。毎日くりかえされる風景。各地から集った前途ある若人。上健全に育ってほしい。これが学院の心である。

次の表は出身県別学生数です。

【出身県別学生数】

出身県	中	国	西	国	九	州	近畿その他	学
科	山	山	山	山	山	山	山	生
保 育 科	36	2	1	2	2	1	1	109
第1看護	127	44	30	9	12	5	17	290
第2看護	58	22	4	8	1	3	1	123
計	281	68	35	19	15	5	22	522
米	54		20			7		100

看護科 長西さよ子 (京都府宇治市) 第四期生

四回生の皆様、お久しぶりです。お元気ですか。早いもので、卒業から九年目になります。今卒業生三十才をエンジョイしています。

子供も学校、幼稚園で手も離れて自分の好きな事をしようと、仕事もやめたい時は、一度二度あったけれどやめずに今だに国立病院に勤務しています。

色々試験もあります。時々研養会へ出席し、ナースとしても勉強したいと若い皆についていけないなと思います。さあー今から女の子供産んで、さあー今から女の

一生、素ばらしいバラ色にしようと思っ
ています。

保育科 小林十四恵 (倉敷市)

前略、同窓会役員ながら何もせず失礼して
います。

この三月に学生時代から数えて九
七ヶ年お世話になった旭川市旭川学
園を退職いたしました。五月二十日
に結婚いたしました。大熊から小林
に変わりましたので、よろしくおねが
いします。

今は義父母、義祖母と私共の大人
五人の生活で、らくな主婦業のため
太ってしまいました(ずうずうしい嫁なの
で)、みるもあわれなブーヤンにな
っています。

来年の春あたり出産予定にしたい
なあ……と思っ
ています。おたのしみに。

第2看護科 山下 梅子 (岡山市)

子供の手が離れ、やっと自分を見
つけることが出来るようになって入
学しましたが、苦しかった二年間も
夢の間に過ぎ、卒業して六年目を迎
えました。

学院時代からの勤務場所であった
「救急センター」に別れをつけ四月
より整形外科で二十一年二十四才に
開かれて張切っています。

かつて旭川市におられた近藤先生
がいっしょにいます。

保育科 山本 直子 (邑久郡長船町)

子供と泣き笑いの毎日を通して

ます。学生時代に学んだことは、我
が子には、なかなか実行できないこ
とを知らされて今日このごろで
す。

そして、つい子供に自分のひいた
ルールにはめようとして、叱ってし
まう悪い母親になることもありま
す。毎年やっている同窓会も参加者
が少なくなりましたが、とても楽し
みにしている一人なので、このまま
続けていきたいものです。

第2看護科 菅原なみ子 (秋田県大曲市)

今年もまた、冷夏を迎えた秋田で
す。八回生の皆様、それに諸先生、
お元気でしょうか？

今年一月に第一回クラス会を開い
ていただいた時、ずいぶん皆様の
身ぶりには、おどろきました。妊娠
四ヶ月だった藤井さん。大きなお
腹が板についた藤原さん。伊達さん、
木内先生。御主人のおろけをた
ふり聞かせてくれた横田さん、川上
さん。まだまだ若い安達さん、工藤
さん、英さん。その他のみな様も、
一人一人の私にうらやましい限りで
す。岡山に赤い糸の彼を福間さんと
一緒に探していく日も、そう遠くはな
い様に思いました(えみちゃん一緒
にして悪かったかな？……)

ところで、同窓会に写した写真は
どうなったのでしょうか？
仕事も今までは小児科病棟だったの
ですが、四月より精神科病棟に勤務
交代となり、今にして守屋先生の講
議をもう少しまじめに受けるべきだ
ったと、痛感しております。担任だ
った景山先生も現在はベトナムサイ
ドのNSとして働いていらっしゃると
か……とても心強く思っております。
三年後のクラス会がある日まで、遠
方ですでお金を貯えて、なおかつ
旧姓菅原、今は〇〇で出席したいと
思っております。

地元の皆様は大変でしょうが、第
二の故郷……岡山へ帰郷できる三年
後を楽しみにしておりますので、よ
ろしくお願い致します。

保育科 川上美智子 (広島県沼隈町)

みなさん、こんにちは！もう秋だ
というのにいつまでも暑いですが、
この同窓会からのたよりが私の所
へ来ているのが、家の方に来て、
気分がよいままになっていました。
本日に申しわけありません。

今になって、もうおそいことと思
いますが、先生方やみなさんの顔が
うかんで、なつかしくなっています。
ペンをとって書いています。

私も、もう卒業して三年目になり
ました。今だにチャロチャロとして
て、みんなの足をひっぱっているよ
うな状態です。でも、根性で何事
もアタックしてのりきっています。
いい事ばかり書いていますが、時
々は落ちこんで、一人、泣いてるよ
うな事……でも、まだまだこれか
らです。がんばりますからネ！
かたい文はながで、こんな長文
は筆おぼろしく下さい。

では、この辺で……

第2看護科 佐野 良枝 (新居浜市)

前略、皆様には益々、御活躍され
ている事でしょう。また、「たより」
を発行するにあたって先生をはじめ
役員の方々、ほんとうに感謝して
おります。

さて、近況ですが、「卒業して三
年あれこれと月日のたつのは、はや
いものでそうです。年齢もウーンと
考え込むのですが、それでも脳外科
病棟で看護とは何ぞやと、急変する
患者さんを看ながら、精神的にも、

肉体的にも勉強する事は多いです。
どんなにくるしくても、いつも緊張
感をもって大切な人間愛を忘れず、
ファイトでがんばっています。

第2看護科 谷村ひとみ (鹿児島県 未定町)

早いもので、卒業して四年が過ぎ
ました。私も仕事と家庭とに忙しい
毎日を送っております。

六月の末に、次男を出産致しまし
た。女の子を思っていました。無
事に生まれてくれて、おたよりで
皆様の事が、遠くにいてもわかる様
です。

これからも、学院の発展をお祈り
致します。

第2看護科 松本かなえ (大阪市)

皆様、お元気でしょうか……？
私も卒業して、三年目に突入！こ
の六月下旬には、三日間の院内研
修に参加します。そろそろ自分の看護
行為にも自信が、少し余裕をも
って仕事ができるようになりました。
毎年、新卒者を迎える指導の立場に
変わってゆきつつありますが、先輩
たちの良いところ、ほとんど吸収し
て、先輩に引き継ぎ自分も、もっと
成長していきたいと思っております。

今年には院内の看護研究のメンバ
ーにもあたり、とり組んでいます。良
きスタッフ、友達に恵まれ充実した
日々を送っています。

昨年、姉が結婚し岡山へ現在住ん
でいます。何かと、岡山と縁がある

ようです。
最近テニスを初め、今年は淡路島
へ一泊。来月は、牛窓へ二・三泊の
予定で計画しています。

第1看護科 渡辺 千鶴 (大阪市)

こんにちは、警察病院小児科に就
職し、小児看護の難しさを感ずるな
がら、中堅クラスのNSになり三年目
をむかえています。まだまだ勉強し
なければならぬことがたくさんあ
り、現在三年目のつまずきで、仕事
面に、やや息づまりを感じています。
私の場合は、病院外のスポーツクラ
ブに所属しており、栄養補給の場と
して、大いに利用しており、かなり
助かっています。

このつまずきをどのようにして、
乗り越えようか、思索中です。

保育科 浅野 浩美 (津山市)

久し振りに学院に来て、びっくり
!!きれーになっていてはありませ
んか！いいねえ！
あー私も、きれーな食堂で、おい
しいおひるが食べたかったなあ。
リズム棟の下にも、きれいな教室
が建てましたよ。私達も、あそこ
で勉強したら、きっと勉強が、はか
どっていただろうなあ。なんて、
思っ
てみた……

11期生のみなさん、元気ですごし
ていますか。自分の人生、大切に自
由に、めいっぱい、チャレンジしよ
うね。

それにしても、かもの先生、いち
だんと少年っぽくなりましたね。
11期生のみなさん。きれいななっ
た学院に、またみんな、あつまっ
て、さわがたいですねえ。

第2看護科 小林 尚枝 (岡山市)

第11期生
初夏の候、学院の先生方は、元氣にお過ごしでしょうか。私は、児童院に就職して、もう二年目を迎えるようとしていきます。毎日充実した日々をおくっています。

六月二十四日には、同じ職場で知り合った人と結婚する予定です。旧姓高杉から、小林の姓になります。まだまだ、未熟者ですが、がんばりたいと思います。

第2看護科 丸山 五鈴 (兵庫県川西市)

第11期生
早いもので、卒業して社会人として、仕事を始めて一年と少し過ぎてしまいました。

手術室という大舞台で、毎日頑張っています。

私達の病院は、去年の十月に新設したので古い病院は、知っていても新しい病院がどこにあるか知らないという人もいます。(場所が変わった為)云い忘れましたが兵庫県にある川西市立病院です。近くにいます。また、遠方の方も遊びに来て下さい。岡山県の生活が夢の様ですが、学生時代の数々の思い出がある意味で、私や又、同窓生の皆さんの心の支えになっていると思います。

皆さん、身体に気をつけて頑張ってください。

第2看護科 田元 厚子 (広島市)

第12期生
社会人の一員となって、はや三ヶ月が過ぎました。三ヶ月は、あっという間に過ぎてしまい、自分でもびっくりするくらいです。

三ヶ月が過ぎて思う事は、学生の時とは違い、一人の看護婦としての責任の重さ、厳しさと看護において、ここまでという限界がなく、常に勉強していかなければいけないという事です。毎日、身をもって感じています。

今の自分には、とてもゆとりのある状態ではありません。しかし、確実に仕事を覚え、ミスのない様、気をひきしめて個々の患者に合った看護ができるように努力して行きたいと思っています。

第1看護科 田中 貴子 (岡山市)

第4期生
痴呆老人及び寝たきり老人の増加が社会問題になっている現在、我が家にも今年九十二歳になる祖母がいます。去年までは外に出て草取りをするなど元気なものでした。しかし、この春頃風邪をひき寝こんでしまいました。難癒らしく、家族の者は手がかかり大変だったと思います。時々しか帰ることのできない私には、体を拭いてあげたり、たまにおしめをかえてあげることぐらいしかできません。口うるさい祖母に一生懸命世話をしている父母達を見て施設で過ごす老人達を考えさせられます。

たしかに世話をする家族の精神的・身体的苦痛を考えると、少しでも負担を軽減したいと思い、ならば施設へ……となってしまいました。脳血管障害などによる痴呆老人の場合にはリハビリなどにより回復も望めるし、自宅でのリハビリ訓練なども行なわれています。

また、最近では、電話による「老人介護のための相談コーナー」もできています。

それぞれの家庭に、さまざまな事情はあるでしょう。整った施設の中で、何不自由なく暮らしている老人達の真の気持ちはどんなものでしょうか……。

苦労して育て、世話してくれた人達になぜ自分の手で世話できないのか……とても悲しいことです。老人の増加に伴い、さまざまな問題が出てくるこの先、今一度考えてみるべきではないでしょうか。

第1看護科 土居みゆき (広島市)

第4期生
守屋先生、箱山先生、山本先生、片岡先生……お久しぶりです。卒業して早、三ヶ月過ぎました。学院にも新入生が入り、私たちが通ったように、勉強にまた、バイト、遊びにはげみ、学院の様子も変わっていないのでしょね。

就職してみても、学生の頃の甘えやおごりに気付いた今日この頃です。学生では、自分ひとりやっていたけれど、それでは済んだものが、病棟では、全員の責任により、チームワークの大切さとむずかしさを感じました。

(実習中には増えた体重も今は、四Kg減り、少しすっきりしました。)また、学生と看護婦の立場の違いや責任の重さを感じます。

自分がどこまでできるのか、不安ですが、今年一年がんばって、やらなければと思っています。

PS・後輩で、広島市民を受けた人があれば、私の知っている事をお知らせしますので、よろしく！

操山の寮生は、元気ががんばっていますか？

第1看護科 遠藤 晴美 (京都府)

第4期生
盆地のためか、とてもむし暑い京都……この街に来て早、三ヶ月がたちます。住み慣れた岡山を離れ自炊生活をしていくことが、一度もホームシックにかかることなく、わりと楽しい生活を毎日送っています。

学生時代、精神科でバイトしていたこともあり、卒業後は府立で単科の精神病院に勤務しています。他科とは全く違い特殊な科ですが、それだけに、大変難しくやりがいのある看護といえるのです。看護者のちよ

としたことに患者さんは、大きく反応を示します。なにげない一言で状態が急激に変化するのです。この三ヶ月で何度、あー！しまった、と思ったことがあるでしょうか。随分、患者さんを傷つけてしまいました。

精神科看護をしていながら、患者さんを傷つけてしまうなんて……私には何を勉強してきたのだろうか……と悩むこともありましたが、しかし、看護は実践しながら学ぶのだということがわかってきました。

自分の行なった看護についての反省は、かかさずしています。少しでも良い方向へもっていかれるように……と日々、頑張っています。精神を、心を病む人々にたずさわって、私自身の精神はどうだろうと思う時もあり、患者さんに接する以前に、自分自身の精神を、まず清めておく今日この頃です。

第2看護科 武本真由美 (大阪府狹山町)

第12期生
返事、遅れまして申し訳ありません。早いもので、卒業し看護婦として務めだして、三ヶ月という日々が過ぎた今、考えてみると業務に流された毎日でした。

ゆとりのある看護をと思いながら、私自身余裕がなかったため、患者さんとのコミュニケーションがなかなかとれないままでしたが、少しずつ余裕ができてきて、食事の時間を褒めてでもと思いながら、見と接する時間を設けるようにつとめています。

看護の原点を考えさせられ、看護婦という職業の責任の重さを痛感しております。

皆さん、護中さんも元気で頑張っております。

第2看護科 丸岡ひとみ (長野市)

第12期生
私は、四月から水島協同病院の外

科病棟で働いています。三月末までは、旭川児童院で働きながら学院へ通う生活だったので、一八〇度の転換だと思っています。

最近、やっと外科病棟にも慣れてきました。しかし、まだまだ、未知の事も多く、毎日をしゅうけんめいにただ過しているという状態です。

外科病棟は、緊急入院、手術が度々あります。今、何をすればよいのか、今、何が必要なのかをすばやく判断しなければなりません。今のところ、先輩の看護婦さんたちに指導を受けながらですが、充実した日々を送っています。

病棟では、週に一回、全体の学習会、病棟では、週に二・三回、症例検討、勉強会を行っています。学院や実習病院で学ぶことのできなかったものだととてもいい勉強になりました。

現在は、新病院建設に向けて、忙しい時期ですが、看護内容を高めたいことを目標に頑張っています。

編集後記

秋の学院祭に合わせて、同窓会定期総会を開催する案内の時期に「同窓会だより」をお届けしております。同窓会が盛んになるためには、各期の中で、横の連絡をしっかりと取り合っており、お互い誘い合せて、年一回の総会に一人でも多く出席していただくことだと思います。

また、住所などが変更された時、ハガキで結構です、母校事務局へ御一報下さい。調った住所へ「同窓会だより」を送っても、送送されて、お手元へ届きません。

また、来年の次の号へのおたよりの御投稿もよろしくお願いいたします。